

社会資本総合整備計画 事後評価書

安全で住みよい拠点地域整備によるまちづくり

令和 2 年 2 月

福岡県筑紫野市

社会資本総合整備計画

令和2年2月8日

計画の名称	安全で住みよい拠点地域整備によるまちづくり		
計画の期間	平成25年度～平成29年度（5年間）	交付対象	筑紫野市
計画の目標			

本市は、福岡都市圏南端に位置し、近年急速な都市化が進行している。その中でも本地区は第2次筑紫野市総合計画により、小郡・筑紫野ニュータウンの第2期建設区域として位置づけられている。本事業は、西鉄天神大牟田線筑紫駅を玄関口とし、都市計画道路、区画道路の整備を行い、拠点地区相互を連絡し、アクセス機能の向上、市内交通の円滑化を図るとともに、無秩序な市街化に対処し、健全な市街地形成を促進する。

計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・1日あたりの西鉄筑紫駅の乗降人員数を6,200人(H24)から6,500人(H29)へ増加 ・本市が実施している市民アンケート調査による「居住環境」に関する満足度を85%(H24)から87%(H29)へ増加 ・本市が実施している市民アンケート調査による「安全・安心」に関する満足度を38%(H24)から42%(H29)へ増加
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	現況値	中間目標	最終目標値							
	H24当初	H27末	H29末							
	6,200 人	6,350 人	6,500 人							
西鉄筑紫駅乗降人員数(1日あたり)										
本市が実施している市民アンケート調査による「居住環境」に関する満足度評価指数	85 %	86 %	87 %							
本市が実施している市民アンケート調査による「安全・安心」に関する満足度評価指数	38 %	40 %	42 %							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,116 百万円	A	1,116 百万円	B	0 百万円	C	0.0 百万円	効果促進事業費の割合 (A(提案分)+C) / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
福岡広域都市計画事業筑紫駅西口土地区画整理事業審議会に意見を求めた。	令和2年2月
	公表の方法
	筑紫野市ホームページにおいて公表する

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
A1	街路	一般	筑紫野市	直接	筑紫野市	筑紫駅西口土地区画整理事業	区画整理 32.5ha	筑紫野市						1,116	
小計												1,116			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
														0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H25	H26	H27	H28	H29		
														0.0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業により、区画整理区域内を含む筑紫駅西口近郊の人口増加に伴い、西鉄筑紫駅の乗降人員数が増加した。 ・区画整理事業により、良好な住環境が整備され、市民アンケートの結果を見ると、いずれの指標も設定を上回る取組みが発現している。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①(西鉄筑紫 駅の乗降人員数)	最終目標値	6,500人	目標値と実績値 に差が出た要因	<ul style="list-style-type: none"> ・土地区画整理事業による道路整備や宅地造成が進み戸建及び共同住宅増による人口増加並びに筑紫駅西口周辺の整備が進んだことが、最終目標値をクリアできた要因と判断される。 ・土地区画整理事業による道路整備や街区形成が進み生活環境が整ったことが、最終目標値をクリアできた要因と判断される。 ・土地区画整理事業による防災に配慮した道路整備や街区形成を行ったことが、最終目標値をクリアできた要因と判断される。 	
		最終実績値	6,586人			
	指標②(居住環境 に関する満足度)	最終目標値	87%			
		最終実績値	87.50%			
	指標③(安全・安 心に関する満足 度)	最終目標値	42%			
		最終実績値	43.80%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)						
3. 特記事項(今後の方針等)						
埋蔵文化財出土による筑紫駅西口土地区画整理事業の事業期間延長に伴い、事業を進めない時期があり、定量的指標の目標達成を危ぶまれたが、次期整備計画においても、目標値を達成できるよう迅速に事業を進めていくことに努める。						

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29	H30
配分額 (a)	200.750	131.296	83.160	80.870	52.800	0.000
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	200.750	131.296	83.160	80.870	52.800	0.000
前年度からの繰越額 (d)	32.696	8.25	105.957	0	0	22.000
支払済額 (e)	225.196	33.589	189.117	80.870	30.800	22.000
翌年度繰越額 (f)	8.250	105.957	0	0	22.000	0
うち未契約繰越額 (g)	8.250	92.019	0	0	22.000	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h) / (c+d))	4%	66%	0%	0%	42%	0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由	-	工事施行上障害となる家屋等の撤去に係る移転交渉に不測の日数を要したため	-	-	埋蔵文化財の保存方針決定の遅れに伴い、文化財調査に不測の日数を要したため	-

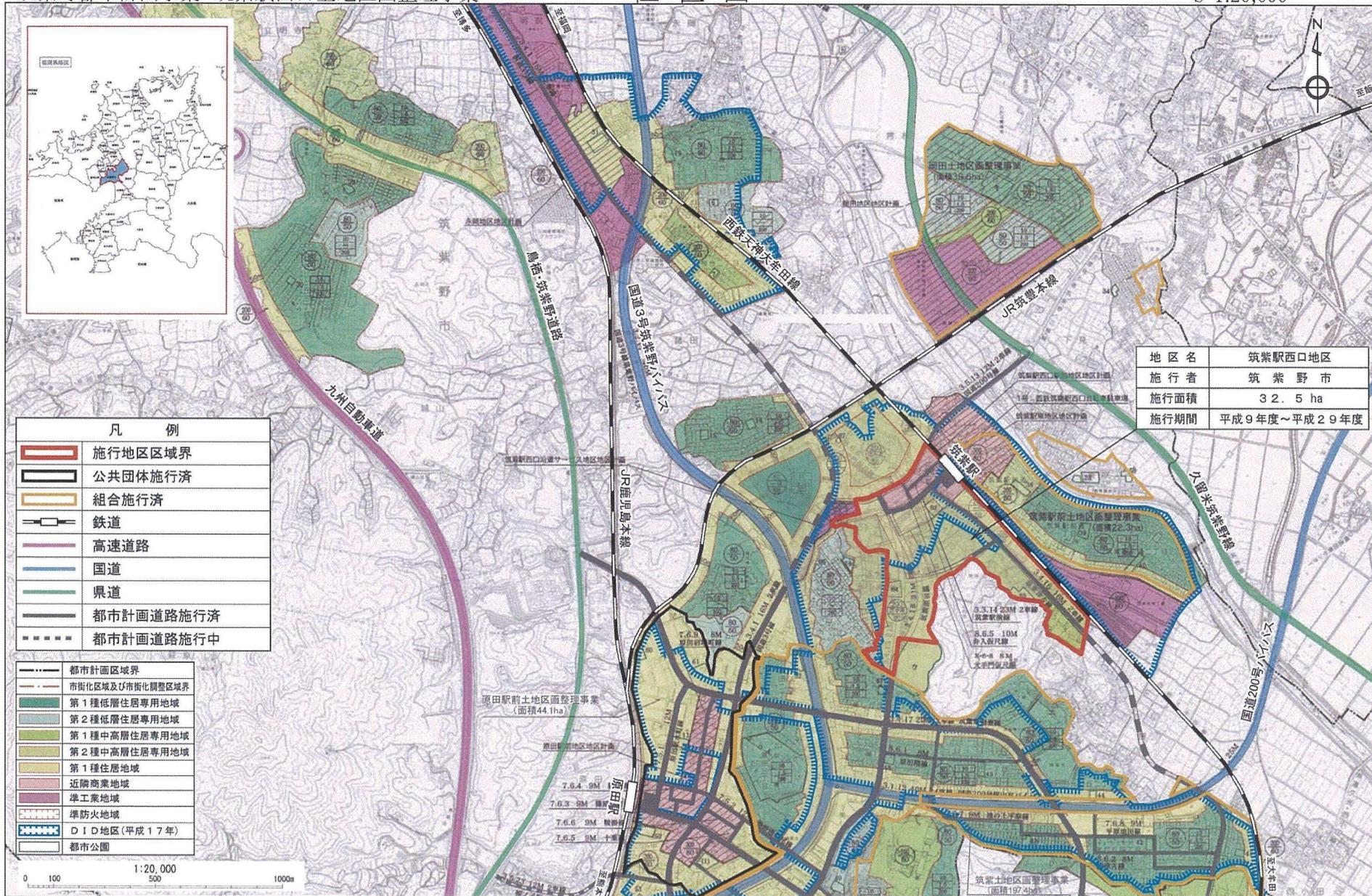
(参考図面) 社会資本総合整備計画

計画の名称	安全で住みよい拠点地域整備によるまちづくり	交付対象
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度 (5年間)	

筑紫野都市計画事業 筑紫駅西口土地地区画整理事業

位置図

S=1:20,000



地区名	筑紫駅西口地区
施行者	筑紫野市
施行面積	32.5 ha
施行期間	平成9年度～平成29年度

凡例	
	施行地区区域界
	公共団体施行済
	組合施行済
	鉄道
	高速道路
	国道
	県道
	都市計画道路施行済
	都市計画道路施行中

	都市計画区域界
	市街化区域及び市街化調整区域界
	第1種低層住居専用地域
	第2種低層住居専用地域
	第1種中高層住居専用地域
	第2種中高層住居専用地域
	第1種住居地域
	近隣商業地域
	準工業地域
	準防火地域
	DID地区(平成17年)
	都市公園

0 100 1:20,000 500 1000m